

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（151）」

2. 日時：令和5年1月25日(水) 10時00分～11時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、鈴木安全審査専門職、馬場係員、松末参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年1月20日に受取済み>>

・泊発電所3号炉 基準地震動の策定について

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	原子力規制庁タニです。時間になりましたので、今日のヒアリングを始めたいと思います。今日のヒアリングの案件としては、泊発電所3号炉基準地震動の策定についてということで、
0:00:12	資料が先週の金曜日、1月20日に提出いただいておりますので、この資料に基づいてヒアリングを行いたいと思います。
0:00:22	まず資料の方、説明を北海道電力からお願いいたします。
0:00:29	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いいたします。
0:00:34	地震動につきましては、昨年10月21日の日、審査会合、
0:00:40	それ以降のヒアリング等々踏まえまして、今回資料修正作成をしてみましたのでご説明させていただきます。
0:00:49	説明はタカハシから説明時間は20分程度を予定しております。よろしくお願いいたします。
0:00:58	はい。北海道電力の高橋です。それでは資料のほうご説明させていただきます。
0:01:04	資料の方共有させていただきまして資料の方ですね、基準地震動の策定についてということで昨年12月13日に資料の方提出させていただいてますけれども、
0:01:17	その資料からの変更点を中心に今回ご説明させていただこうかなと思っております。まず5ページをお願いいたします。
0:01:26	こちらこれまでの審査会合における説明経緯と主要な指摘事項、それらに対する対応方針をまとめております。
0:01:33	記載内容については、昨年提出させていただいた資料と変更はございませんが、一番下の箱書きの部分、一つ目と二つ目の四角ですけれども、こちら8ページの基準地震動策定の基本的な考え方と、
0:01:47	いうことのページございますが、そちらの記載ぶりに合わせて記載を統一してござい。
0:01:52	6ページをお願いいたします。
0:01:55	こちら、昨年10月21日の審査会合での指摘事項を踏まえて、断層モデルを用いた手法による基準地震動の設定に関する評価方針を経て、変更してございます。
0:02:07	その変更に伴って資料の方修正してございますが、評価方針や、評価結果に検討結果について昨年10月の審査会合からの相違点を一覧表としてまとめているものでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:21	こちら先ほどの5ページと同様に、内容については昨年12月に提出させていただいた資料と変更ございませんけれども、8ページの基本的な考え方の記載ぶりに合わせて記載を統一してございます。
0:02:37	8ページをお願いいたします。
0:02:41	ここからは、今回の検討の概要をまとめております。昨年12月に提出さしてさせていただきました資料から、10ページから16ページを変更してございますけれども、
0:02:54	本日は検討の概要について市論の流れをご説明させていただきたいと考えてございます。
0:03:00	まず8ページは、基準地震動策定にあたっての基本的な考え方をお示ししてございます。
0:03:06	昨年12月に提出させていただいた資料から変更はございませんが、改めてご説明させていただきますと、基準地震動の策定の基本的な考え方としまして、
0:03:17	まず応答スペクトルに基づく手法をの基準地震動、こちらにつきましては、施設に与える影響を考慮して検討用地震ごとに評価した設定を上回るように設定するというところ。
0:03:30	一方で断層モデルを用いた手法による基準地震動、こちらにつきましては、S sワンとの関係を整理しまして、S sを上回るケースから、検討用地震の地震動の諸特性、
0:03:41	を踏まえた上で、検討用地震ごとの代表ケースを基準地震動として設定いたしております。
0:03:47	また、同様に、特定せず策定する地震動による基準地震動についても、S s案上回るケースを基準地震動として設定してございます。
0:03:57	9ページをお願いいたします。
0:04:01	基本的な考え方を踏まえました基準地震動全体の設定等を示してございます。こちら昨年12月ウーの資料から変更はございません。結果としてS s1からS s3-5まで、合計20%の基準地震動
0:04:16	を、20%を基準地震動として設定してございます。
0:04:20	断層モデルを用いた手法による基準地震動の設定につきましては、詳細、次ページ以降に詳細を記載してございますのでこちらの方でご説明させていただきます。
0:04:30	10ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:33	ここからが、前回、昨年ですね昨年12月から12月に提出させていただいた資料から、大きく変更になっている箇所となっております。
0:04:44	まず、10ページには、地震動評価結果全体の検討を踏まえまして、基準地震動の選定方法について整理してございます。
0:04:54	具体的には10ページに記載数でございます。3点の確認結果を踏まえまして、基準地震動の選定方法を整理してございます。
0:05:03	まず一つ目は、S _s ワンと断層モデルを用いた手法による地震動評価結果の関係について整理してございまして、
0:05:11	地震動評価結果全体で104ケースございますけれども、こちら104ケースからS _s は上回るケースが39ケースございます。
0:05:20	それらのケースが施設に与える影響が大きいということで整理してございます。
0:05:25	二つ目に、地震動評価結果全体の傾向について、応答スペクトルの傾向をは形の傾向、主要動の継続時間を確認した結果、
0:05:35	それらの特徴が基本的に概ね同様ということから、検討用地震ごとに代表ケースを選定可能であろうということで整理してございます。
0:05:45	また、地震動評価結果全体の傾向として、応答スペクトルの傾向や、8Kの傾向、主要度の継続時間が、基本的に概ね同様ということから、
0:05:56	代表は、の件、選定に当たりましては、応答スペクトルの地震動レベルにより、基準地震動として設定する代表ケースを選定するというところで考えてございます。
0:06:07	最後に、代表ケースの選定に当たりまして、検討用地震の応答スペクトルにおいて、相対的に地震動レベルが大きい周期体、こちらに着目しまして、代表ケースを選定することで、
0:06:19	施設に与える影響が大きいケースが選定されるということで、整理してございます。
0:06:25	以上3点を踏まえまして、
0:06:29	選定方法ですね基準地震動の選定方法をまとめてございます。
0:06:34	そちらについては10ページ下段にまとめてございまして、断層モデルを用いた手法による基準地震動につきましては、S _s 案を上回るケースから、検討用地震ごとに代表ケースとして選定してございます。
0:06:47	また、代表ケースの選定に当たりましては、応答SPECTの傾向はKの傾向、主要動の継続時間が、基本的に概ね同様ということから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:57	相対的に地震動レベルが大きい周期体で、地震動レベルの比較等を行いまして、
0:07:03	施設に与える影響が大きいと考えられる振動、すなわち着目する周期で地震動レベルが大きいケース、こちらを代表ケース、ケースとして選定いたします。
0:07:14	なお、尺丹半島北西沖の断層による地震の層厚 40 度ケースにつきましては、応答スペクトル、応答スペクトルの U D 方向の長周期側で、層厚 0° ケース、走向 20° ケースと、
0:07:28	傾向が若干異なるということから、
0:07:31	層厚 0 度ケース及び 20 度ケースと層厚 40 のケースにつきましては、区分して整理してございます。
0:07:38	11 ページをお願いいたします。
0:07:43	続いて、検討用地震ごとの代表ケースの選定フローについてお示ししてございます。
0:07:50	10 ページにおいて、基準地震動野瀬選定方法を整理しまして、検討用地震ごとに代表ケースを選定するという事で整理してございますが、
0:07:59	それらの代表ケースの選定方法をフロー化してございます。
0:08:04	まず前提としまして、検討用地震ごとの代表ケースにつきましては、施設に与える影響を考慮しまして、着目する周期体で、地震動レベルが大きいケース、こちらを選定することを基本としてございます。
0:08:18	つまり、検討用地震ごとの相対的な地震動レベルが大きい周期体、こちらで地震動レベルが大きいケースを選定することで、施設に与える影響が大きいケースが選定されるということで考えてございます。
0:08:33	また、施設に与える影響が大きいと考えられる地震動がすべて代表ケースとして選定するために、
0:08:40	選定した代表ケースで、他のケースを代表させることができるのかどうかという確認を実施してございます。
0:08:48	すなわち、選定した代表ケースで塗れも抜けや漏れがないか、確認もあわせて実施しているという形になってございます。
0:08:58	以上の考え方を選定フローに展開したものを 11 ページにお示ししてございます。
0:09:03	フロー図の一番左側のステップ 1 におきまして、検討用地震ごとに、S s ワン上回る、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:12	ケースから、施設に与える影響が大きいと考えられるケース、すなわち、検討用地震ごとの相対的にね、相対的に地震動レベルが大きい周期体で、
0:09:22	地震動レベルが、いずれかの方向で明確に大きいケース、こちらを代表候補として、代表ケースとして選定してございます。
0:09:31	続きまして、フロー図中央のステップ2におきまして、
0:09:35	施設に与える影響が大きいと考えられる地震動がすべて代表ケースとして選定できているかどうか確認するために、ステップ1で選定しました大代表ケースで、
0:09:48	他のケースを代表させることができるかどうかという確認を実施しております。
0:09:52	具体的には、ステップ1で選定しました代表ケースとその他のケースについて、
0:09:59	応答スペクトルの形状を比較し、代表ケースと同様の傾向であると判断されたケースにつきましては、さらに着目する周期体の地震動レベルを3方向で確認した上で、
0:10:10	代表ケースで代表させるか否かということを確認してございます。
0:10:16	最後に、フロー図右側のステップ3において、施設に与える影響が大きいと考えられる地震動をすべて代表ケースとして選定するために、
0:10:26	ステップ2、応答スペクトルの形状がステップ1で選定されました。代表ケースと同様の同様の傾向にないと判断したケースの中から、
0:10:36	再度、着目する周期で地震動レベルが明確に大きいケース、こちらを代表ケースとして再度選定してございます。
0:10:45	また、ステップ3で選定されました代表ケースの代表性を確認するために、ステップ3で選定されました代表ケースと、その他のケースにつきましても、
0:10:56	応答スペクトルの形状を地震動レベルを比較しまして、ステップ3で選定された代表ケースで代表させるか否かというのを確認してございます。
0:11:08	12ページから15ページに、これらのフローに基づきました検討用地震ごとの代表ケースの選定結果をお示ししてございます。
0:11:18	12ページをお願いいたします。
0:11:21	こちら尻別川断層による地震の代表ケースの選定結果の概要を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:29	尻別川断層による地震につきましては、S s ワンを上回るケースが9 ケースございます。その9 ケースから、まずステップワンで代表ケースを1 ケース選定してございます。
0:11:41	ステップ2 におきましては、ステップワンで代表ケースとして選定しました断層の傾斜角、破壊開始点4 の評価結果で、
0:11:51	代表させることができるケースとして、3 ケースを確認してございます。
0:11:56	さらに右側いきましてSTEP3 におきまして、ステップ1 で選定しました代表ケースと応答スペクトルの傾向が異なると判断しました5 ケースにつきましては、
0:12:08	ステップ3 におきまして再度代表ケースを1 ケース、選定してございます。
0:12:13	最後、2 ステップ3 で代表代表ケースとして選定しました応力降下量の破壊開始点4 と、その他の4 ケース、ウーにつきまして比較検討し、
0:12:25	その他の4 ケースにつきましては、ステップ3 で代表ケースとしたケースで代表させることができるということを確認してございます。
0:12:35	結果として、ステップ1 で代表ケースとして選定しました断層系、断層の傾斜角、破壊開始点4 及びステップ3 で代表ケースとして選定しました応力降下量、破壊開始点4、この2 ケースを、
0:12:49	尻別川断層による地震の代表ケースという形で選定してございます。
0:12:55	13 ページをお願いいたします。
0:12:58	続いて連動断層の代表ケースの選定結果の概要を示してございます。
0:13:03	連動断層につきましては、S s を上回るケースが15 ケースございまして、その中からステップ案で代表ケースを4 ケース、ステップ3 で代表ケースを1 ケース選定してございます。
0:13:15	その他のケースにつきましてはステップ2 及びステップ3 におきまして、それぞれの代表ケースで代表させるということを確認してございます。
0:13:26	結果として連動断層につきましては5 ケースを代表ケースとして選定してございます。
0:13:31	14 ページをお願いいたします。
0:13:34	続いて積丹半島の地震に関する代表ケースの選定結果の概要を示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:41	積丹半島北西沖の断層による地震につきましては、10 ページでご説明したように、0 ケース及び 20 度ケースと層厚 40 度ケースについて区分して整理してございます。
0:13:53	層厚 0 度ケース 20 度ケースにつきましては、S s を上回るケースが 10、10 ページございまして、その中からステップ案で代表ケースを 4 ケース選定してございます。
0:14:05	その他のケースにつきましてはステップ 2 におきまして、ステップ案で選定しました代表ケースですべて代表させることができるということを確認してございます。
0:14:15	結果としまして 4 ケースを層厚 0° 及び 20° のケースの代表ケースとして選定してございます。
0:14:23	15 ページをお願いいたします。
0:14:26	最後に、積丹半島北西沖の断層による地震のうち、層厚 40 度ケースの代表ケースの選定結果の概要を示してございます。
0:14:37	層厚 40 度ケースにつきましては、S s を上回るケースが 5 ケースございます。
0:14:42	それらの中から、ステップワンで代表ケースを 1 ケースステップ 3 で代表ケースが 2 ケース選定してございます。
0:14:51	その他のケースにつきましては、ステップ 3 におきましてそれぞれの代表ケースで代表させることができるということを確認してございます。
0:15:00	結果として 3 ケースを層厚 40 度ケースの代表ケースとして選定してございます。
0:15:07	16 ページをお願いいたします。
0:15:11	こちら断層モデルを用いた手法による、基準地震動の策定結果の概要をまとめたものになります。
0:15:18	こちらにつきましては検討用地震ごとの地震動評価結果を、どのケースで代表させているのかを一覧表でまとめてございます。
0:15:27	結果として、代表ケースとして合計 14 ケース選定してございますが、それらの代表ケースにつきましては、S s ワンを上回るケースから、地震動の諸特性を踏まえた上で、
0:15:39	施設への影響が大きい地震動が検討用地震ごとに複数選定されているということから、適切な代表ケースが選定されているということで考えてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:50	続いて、断層モデルを用いた手法による、基準地震動の設定について、検討結果の概要についてご説明させていただきます。24 ページをお願いいたします。
0:16:04	24 ページ以降につきまして断層モデルを用いた手法の基準地震動の選定結果をお示してございます。こちらにつきましては基本的な内容につきましては昨年 12 月の資料から変更はございません。
0:16:20	しかし、先ほどご説明しましたように、概要の部分若干資料、資料の方修正してございますので、その資料修正に伴って資料構成の方見直しているものでございます。
0:16:31	24 ページにつきましては整理の方法ということで、選定方法の整理ということで前段の 10 ページでご説明した資料を掲載しているものになってございます。
0:16:42	以降、その検討結果として 25 ページ以降に、その検討結果を載せているというか、形の資料構成に変更してございます。
0:16:53	ページ、飛びまして後、20、36 ページをお願いいたします。
0:17:03	36 ページ目以降に、各検討用地震ごとの検討結果の詳細を記載してございます。
0:17:11	各検討用地震ごとの検討結果の詳細の頭に、県選定結果の概要を 1 ページずつ、追加してございます。
0:17:22	資料の構成につきましてはこちらステップ 1 からステップ 3 の構成に伴いまして資料の方それぞれ対応するように資料を並べているという形になってございます。
0:17:34	結果だけご説明させていただきます。30、
0:17:40	あ、失礼しました 47 ページをお願いいたします。
0:17:45	こちら尻別川断層の検討結果のまとめという形になってございます。先ほどご説明した通り尻別川断層につきましては 2 ケースを代表ケースとして選定しましてそれらを基準地震動として設定してございます。
0:18:00	なお、基準地震動として設定しました 2 ケースについての考察を 3、47 ページ上側の箱書きですね、の二つ目の部分に追加してございます。
0:18:13	こちら読ませていただきますが、基準地震動として設定しました 2 ケースにつきましては、応答スペクトルの傾向が同様のケースの中から、着目する周期の地震動レベルが 3 方向で大きいケースがそれぞれ選定されていると。
0:18:28	ということから、施設に与える影響が大きい地震動が選定されているということで考えているという旨の考察を追記してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	これらの考察につきましては、以降、連動断層や車庫ターンの検討結果のまとめの部分に同様に記載してございます。
0:18:48	資料飛びまして、全体のまとめとして記載してございます部分のご説明をさせていただきます。資料につきましては、
0:18:59	すいません。
0:19:06	80 ページをお願いいたします。
0:19:11	こちら、断層モデルを用いた手法による基準地震動のまとめ、を記載してございます。
0:19:17	断層モデルを用いた手法による基準地震動につきましては、検討用地震ごとに 14 の代表ケースを選定しましてそれらについて基準地震動 $S_s 2-1$ から $2-14$ として設定してございます。
0:19:32	また、ここにつきましても S_s として選定しました結果について考察を加えてございます。
0:19:40	上の箱書き二つ目の部分になってございますが、設定した基準地震動につきましては、 S_s は上回るケースから地震動の諸特性を考慮した上で、施設に与える影響が大きい地震動が、
0:19:52	検討用地震ごとに複数選定されているということから適切な基準地震動が設定されていると考えているという旨の考察を追記してございます。
0:20:03	最後、修正箇所としては、104 ページをお願いし、
0:20:14	こちら一関東評価用の地震動の設定に関して昨年 10 月 21 日の審査会合におきまして、指摘事項がございまして一関東評価用の地震動の鉛直方向の設定する際に用いた数値の参考文献について、
0:20:32	中段箱書きの②の部分に追記してございます。
0:20:37	また、昨年 12 月のに提出させていただいた資料から、変更点としましては、10 月 21 日の審査会合での検討結果、こちらの方を引用している部分でございますので、
0:20:50	当該資料につきまして次ページ以降、105 ページと 106 ページに追加してございます。
0:20:58	資料のご説明については以上となります。
0:21:04	規制庁谷です。説明ありがとうございました。
0:21:08	資料の内容確認に入りたいと思います。
0:21:13	まず私の方からなんですけれども、
0:21:18	多分今日のヒアリングは最初の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:22	北海道電力の考えというか、選定に関してどう考えているのかとか、そういうことがメインになるのかなと思って、
0:21:31	いますけれども、
0:21:35	今回、
0:21:37	フロー。
0:21:39	とかを前回から変えてきたし、
0:21:43	結論、このフローでどう流れているのか結論というのはですね、書いてくれたと。
0:21:52	ということで、
0:21:54	前よりはちょっとわかかわかり。わかる、わかっている部分はあるんですけども、
0:22:00	ただですね、何と言うのかな
0:22:04	これ、
0:22:06	こうやってますっていうのが書かれてる。
0:22:09	ことがですね。
0:22:12	最初に言うとど、ど、この手順でやることは、
0:22:16	が、
0:22:17	どうして何か、
0:22:20	影響が大きい。
0:22:22	地震動がすべて抽出できているのかっていう、その関係がですねちょっと見ていっても、
0:22:28	わからないと。で、
0:22:33	結局このフローを使うとどういう地震が選定されているんですか、どういう地震っていうのは、そのフローを見ると、
0:22:42	着目する周期体で、地震動レベルが大きいものが選ばれていると、ということと、
0:22:50	あとは、
0:22:52	3方向でも確認していることっていうのが、どうという地震が選ばれるのかとか、その辺がですね、何か、
0:23:01	聞いてても、
0:23:03	資料見てもよくわからないんですけど、まずその11ページで、どうしてこのフローを使えば、
0:23:14	施設に影響が大きいものを選んでいるという、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:17	考えになるのかっていうのをですねもうちょっとこう詳しく教えてもらっていいですか。
0:23:26	はい。北海道電力の高橋でございます。
0:23:29	まず、今回の整理におきまして、まず 10 ページにおきまして、地震動評価結果全体の傾向について、確認を行っている。
0:23:41	その確認におきましては、応答スペクトルの形状であったり系の形状、さらには主要動の継続時間、こちらの方確認しまして、検討用地震ごとに基本的に同様の傾向であるということを確認してございます。
0:23:57	それらを踏まえましてまずは検討用地震ごとに代表ケースを選定していこうということで考えているというのがまず 1 点でございます。
0:24:06	その代表係数を選定するに当たりまして、諸特性のうち、応答スペクトルの形状やは K 主要動が基本的に同じということから、
0:24:18	代表ケースの選定にあたっては、地震動レベルに着目して代表ケースの方、検討用地震ごとに選定していこうというようなことで考えてございます。
0:24:29	そこまでをまとめたものが 10 ページという形になってございまして、
0:24:35	その 10 ページの中で一番最後、③の部分で確認してありますが、あとはその地震動レベルを確認する際の周期対飯野を着目点を③で整理していると。
0:24:47	こちらにつきましては検討用地震ごとにそれぞれ地震動レベルが相対的に大きい周期体がございますので、その周期体、相対的に大きいので施設への影響が大きいということで考えてございましてその周期体に、
0:25:02	着目して、代表ケースの方を選定していこうというようなことで考えているというのが 10 ページまでの整理という形になってございます。
0:25:11	それらを踏まえまして 11 ページにおきましては、まず、代表ケースの選定にあたって着目する周期体さらにはすいません。タップする周期体の地震動レベルが大きいもの、
0:25:25	この部分を選定することによって施設への影響が大きいものがまずピックアップされるであろうということでまず考えている。
0:25:35	さらに、その代表ケースとして選定したものを。
0:25:39	について、
0:25:41	他のものを、他のものが代表できるかどうかというところを確認しているのがステップ 2 になってございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:51	そのステップ2におきましては地震動レベルの比較をするわけですが、その主地震動レベルの比較をする際には、着目する周期の地震動レベルの3方向で最終的には確認して、
0:26:06	ステップ1で選定された代表ケース、こちらで代表できるかどうかというのを、3方向の地震動レベルで確認していると。
0:26:14	いう流れになってございます。
0:26:16	従いまして、まずは地震動レベルが大きいものを、が施設へ与える影響が大きいということで考えて代表ケースとして選定するのが1点。
0:26:26	そのあとに、その代表ケースで他のものがきちんと代表できてるかどうかというのを確認するのがステップ2という形になってございます。
0:26:35	それらを踏まえまして代表ケースとして選定されるものに、抜けや漏れがないということを確認して、すべて影響が大きいものがすべて選ばれているというものを、
0:26:47	を確認しているという形になってございます。
0:26:52	井谷です。何かステップ1でまずは決めてステップ2確認に次は入っていくんだっていう、
0:27:01	説明ですかね、これでも。
0:27:04	ステップ1でステップ2があってステップ3に進んでるっていう、この流れを考えると、何か確認っていう感じでもないような気も。
0:27:15	しててそこもちょっとわかりにくいのと、あと、3方向で確認することが、
0:27:24	どうして
0:27:26	確認になるのかっていう、ここがですね多分説明から抜けているのかわかっていうふうに思うんですよね。
0:27:35	3方向、
0:27:40	で、そこをちょっと、まず、3方向を確認して、判断するっていう、この辺の
0:27:49	国殿の考えっていうのをちょっと教えていただいてもいいですか。
0:28:16	はい。北海道電力の高橋でございます。
0:28:19	こちらですね、まずステップ1で地震動レベルが大きいものを代表ケースとして選定してございますが、こちらにつきましては
0:28:30	着目する周期体で、いずれかの方向で、明確に大きいケースというものを代表ケースとしてまず選定しているというのが第1点でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:39	で、ステップ2におきましては最終的に3方向で確認してございますがこちらは、例えば2番手2番手になってるような各方向で2番手2番手になってるような地震動の影響をここで確認していると。
0:28:54	いう形になってございまして、ステップ1で代表、代表ケースとしましてチャンピオンケースになりますけれどもそちらの代表ケースで、他のものがきちんとカバーできてるかどうかというのをステップ2で確認していると。
0:29:07	いう形になってございます。
0:29:12	規制庁の名倉です。
0:29:14	すいません今ちょっと説明あったところで、もう少し詳しく教えてください。
0:29:19	11ページのステップワンのところ、
0:29:23	着目する周期の地震動レベルがいずれの方、いずれかの方向と言ってるのは、
0:29:29	例えば、10ページのところで、着目する周期たいて、例えば尻別川断層であれば、長周期1から5秒。
0:29:39	これはUD方向ですよ。
0:29:42	NSEWはそれほどSSWANを超えるほど顕著な時、振幅レベルではなくて、UD方向のみ、
0:29:49	これって着目する周期体って方向は方向という概念はもうなくしているんですか。
0:29:57	薄層ステップ案というのはいずれかの方向と言ってるのはどういう意味なのかっていうのは、幾らでも取り得るというか、例えば尻別川断層であれば、
0:30:07	いずれかの方向っていうのは長周期1から5秒の周期体。
0:30:12	これがUD方向でエスワンを超えるので、いずれかの方向といった時にUD方向のみを表しているのか、それともNSEWもちゃんと
0:30:22	NSEWを見てしまっているのか、これは3方向のことを言ってるのか一方向のことを言ってるのかわからない。それからステップツーを、
0:30:31	全周期体で応答スペクトルの形状が代表ケースと同様の傾向っていうのは、これは、
0:30:38	3方向、
0:30:40	見てるのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:41	それともう1方向でも傾向が一致してるものがあればそれを拾ってるのかとか、そういうところがわからない状況になっていてかつその下のひし形とかさ方向と言ってるから、
0:30:53	ここだけ3フォークを見ているのか、他のひし形のところではある方向だけ見ているのかそういったところが全くわからないんですがここら辺はどういうふうな見方をしているんですか。
0:31:10	ちょっと北海道電力ノジリですおっしゃるところがありました
0:31:15	例えば11ページのフローでいうとステップ1の、
0:31:20	1ページのフローとして、おっしゃる通りS s1を上回る、
0:31:27	成分に対して明らかにチャンピオンというか大きくなってるところがあれば、それは拾いますということで今尻別川でいうとおっしゃる通りN S E Wは、
0:31:38	S s1を下回ってますと、でUDがS s1を大きく上回ってるところになってますんでUDの中で大きいものを選んでるっていうのが代表ケースなんでちょっとそこら辺、言葉が足りてないということを確認しましたそれからステップ、
0:31:51	2のところでは、一つ目のひし形ですねこれ代表ケースと同様の傾向こちらについては3方向、
0:31:58	見てますN S E W、アップダウンで同じような傾向にあるか否かっていうのを見て、
0:32:04	まず、イエスノーを決めると、そのイエスになってるものを同じような傾向のものでちゃんと、
0:32:12	1回ステップ1で選んだ代表ケースが、このステップ2で降りてくるものをカバーできてるかフォローできてるかっていうんですかね、いうところを見ているということなので、ステップ2の上のひし形の3方向を見ている。
0:32:26	下の方も3方向で地震動レベルを確認しているってところなんでちょっと書いてるんやってること、不明確さがちょっとあるということを確認しました。そこはちょっと追記させていただきたいと思います。以上です。
0:32:40	規制庁名倉です。ステップワンのところはだから、
0:32:44	着目する方向周期体の地震動レベルが明確に大きいってことですね。
0:32:50	いずれかの方向ってのは非常に不明確で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:53	ということは10ページのところに着目する周期体ってのは方向があるっていうこと。
0:32:58	ですね。
0:33:00	ですから尻別側であればUD、そのあとのFS点、
0:33:05	のところについては、
0:33:07	NSEWUDすべて、それから積丹半島北西沖の層厚0° 走向20° の
0:33:18	10ケースについては、NSEW水平方向の短周期、それから、
0:33:26	40° のケースについては短周期0.1から0.4でのNSEW長周期市川さんとはUDということに着目する。
0:33:26	方向と周期差異がセットになっている。
0:33:30	とというのが最初に出てくるという理解でよろしいですか。
0:33:36	北海道電力野尻ですまずですね、10ページで着目する周期体っていうのは我々の今の整理としては3方向ともにこの周期体っていうバンドで整理しているもの。
0:33:51	になってます。11ページに行った時のステップ1で、このいずれかの方法で明確に大きいってところが、
0:33:58	S s 1 を
0:34:00	超える範囲の中っていうんですかね超えるところで、大きくなっているか否かっていうあたりになっているという整理だと思ってますんでちょっと、
0:34:09	着目する周期って言った時には3方向ともにこの周期体っていう見方をしていますんでステップ2のところに行った時にもこの着目する周期の3方向で確認っていうのはあくまでもNSEWアップダウンっていう整理で、
0:34:23	見ていたというところになりますちょっと今おっしゃるところで牛きっちり10ページ11ページが分けられてるかっていうのがありますんでちょっともう一度見直したいと思います。
0:34:34	名倉です。わかりましたけど、
0:34:39	ちょっと曖昧なのは、例えば27ページのところで、
0:34:42	集喜多猪瀬検討地震ごとに着目する周期体の設定のところ、
0:34:48	各新、震源モデルの種類ごとに検討地震のある分類ごとに、
0:34:56	その周期体とか方向の分析をしてるんですけど、
0:35:01	ここは例えば尻別川であれば、鉛直方向で

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:09	に限定して得る限定することができるんだけど、積丹半島の北西沖の層厚 40 度ケースとかについては、
0:35:19	これは例えば、
0:35:23	エスワンを上回るものについては方向を限定できるんだけど相対的に、
0:35:29	水平方向及び鉛直方向の短周期と長周期の地震のレベルが大きいという分析をしているので、
0:35:37	こういう地震、検討用地震に関しては 3 方向をちゃんとよく見ないといけないと。
0:35:43	いうことを表してると思うんですけど。
0:35:45	それ以外のものも、じゃあどの段階で 3 方向をちゃんと見るのかっていうのは、ちょっとステップツリーの段階で見べきものなのかちょっとよく、
0:35:55	こちら辺がこちら辺の分 27 ページの分析とかを見てると、
0:36:00	何かよくわからないというかあまりこう整合はしてないのかなと約 3 方向を見てしまっているんで、
0:36:08	何かこう、判断としてすごく何て言うのかわかりにくくなってるようなちょっと印象がありますいずれにしてもちょっとステップワンステップステップスリー。
0:36:19	というところで、
0:36:20	どの方向をどういうふうに見ているのかというのはちょっと書いてあることと、やってることがちょっと、整合関係がわからなかったんでちょっとお聞きしてみた限りですけど。
0:36:32	いずれにしてもちょっと、こちら辺は、
0:36:35	若干修正が必要なのかなという気はちょっとしました。
0:36:40	以上です。
0:36:44	はい。北海道電力野尻ですおっしゃる通り 27 ページでいうとこれそうですね 27 ページの箱の中で各断層ごとに書いてるところこれは 28 ページのスペックオートスペクトル図を見たときに、
0:36:58	おっきいところを書いてますそうすると鉛直方向尻別川でいうと鉛直方向っていうのがおっきいという事実を書いていてそこをベースに着目する周期体っていうのを 3 方向で設定するっていう流れになっていて実際選ぶ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:14	プロセスで、37 ページとかですね 37 ページに着目する周期体っていうのを表すときの N S E W アップダウンそれぞれに書いて、着目していきたいというのを設定して、見比べていっている。
0:37:27	ことをしておりますこれ先ほどもタカハシ申しましたけど、まず一つ目のどっかでチャンピオンになってるっていうな方向によらず、大きい S s 1 を上回る中で大きいものを選ぶっていうことをやっています、
0:37:39	そのあとにそれで代表できるか他のものが代表選手になることはないかという確認の際には、その一方向だけじゃなくてそれ以外ゆうこ d u 尻別川でいうと U D だけじゃなくて N S E W。
0:37:53	ガーン極端に例えば、代表ケースが小さくなっていけば他のものも選ぶ必要が出てくるだろうっていうような観点で、
0:38:01	やっているというところで多分、一段階目前段の主着目する周期体の設定をしているところの作業とそれから、
0:38:11	実際の代表ケースを選ぶ作業の中での着目する周期体って一言で言っていますけどそこで 3 方向見てたり一方向だったりっていうのはおっしゃる通りあるということわかりましたのでそこはもうちょっとわかりやすく、
0:38:24	作業の方が見えるようにですね、書かせていただきたいと思います。以上です。
0:38:35	はい可児です。ちょっと、お願いします。
0:38:39	続けたいんですけど、このフローが僕が言いたいのはこのフローで、どうしてここを見なきゃいけないのかっていうのが何かわかるような説明をして欲しくて、さっき名倉調整官も言いましたけど、
0:38:53	それぞれ、どういう考えで、どう、どうしてここを見たら、施設に影響が大きいものが選んでいるんだっていうのははっきりして欲しいな。
0:39:03	というのを、資料見て思っています。少なくともステップワンはですね S s 1 を上回る方向で、大きいかどうかを見ているってことでいいんですね。
0:39:16	で、それは S s 1 を上回る方向が 2 本終わったら、2 方向とも見ますよと。
0:39:21	そういうことでいいですね。
0:39:24	はい北海道電力野尻です。おっしゃる通り、とにかくいずれかどこの方向でも S s は上回って施設影響が大きいと考えられそうなものはまず確実に拾い上げるっていうのがステップ 1 の思想になってますんで N - S で大きいもの E W 大きいもの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:40	これが違うものであれば、両方選びますし同じものであれば同じものを選ぶってということになると思ってます。以上です。
0:39:47	はい、お願いします。
0:39:49	江藤S そのステップ2の値さん方これちょっと、何かこれちゃんと説明してもらいたっていう話で、
0:39:59	これ3フォークを確認する、確認の着目点って右側にこう出てるんですけども、
0:40:08	これS s1を上回る部分で代表ケースが概ね包絡しているかどうかこれ多分、大事なことなんだと思うんですけど、その上に、代表ケースの3方向で地震動レベルが概ね大きくなっていう話をしてるんですけども、
0:40:22	これって何か説明によっては、
0:40:24	別に
0:40:26	S s1を上回る部分で、例えば代表する方が大きかったら、他の方向って別を概ね大きくなくても同レベルでもいいのかとか、
0:40:38	そういうこう考えはあると思うんですよね。
0:40:42	超える部分はしっかりと概ね包絡されてるかどうかを見るとその他は、
0:40:47	必ずしも大きくない大きい必要があるのかなとか、その辺もちょっと疑問に思って、
0:40:54	丁寧な説明をして欲しいなと思いました。
0:40:59	で、もう一つね、そのステップ2で、さっき言いましたステップに進んだときに、全周期体で応答スペックとの形状が代表ケースと同様の傾向っていうのは、
0:41:12	もうすでに10ページの、
0:41:15	②で、
0:41:16	見ていることとは違う観点でもう1回確認するっていうことなんですか。
0:41:29	はい。北海道電力の高橋です。ステップ2の上の部分ですね、全周期で、全周期体で応答スペクトルの形状が代表ケース等を同様の傾向であるかどうかという、
0:41:42	この確認にあたってですが、10ページについては、その地震の評価結果全体での傾向を見ているというところなので、一対一の比較を11ページの方でしているという形になってます。
0:41:56	なので11ページの方で言いますと、
0:41:59	結果としてですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:03	例えば尻別川で言いますと、39 ページあたりにこれ比較結果出てますけれども、代表ケースとしては赤線とその他のケースの緑線、こちらの方を、すべての方向で、3 方向、
0:42:18	の一对一の比較をして、傾向が同じかどうかというところを確認しているという形になっております。
0:42:27	なので一对一で比較をするのか全体の傾向を見ているのかというところで若干 10 ページと 11 ページで違いがあるという形になってございます。以上でございます。
0:42:41	はい。ないです。11 ページを一对一で、もう少し細かく確認しますよってという意味。
0:42:49	かなあと思ったんですけども。
0:42:52	家全体の傾向としてもこれは一緒なんだよってという説明を 10 ページで申している中で、おんなじようなことを見てても、
0:43:02	傾向が同じなのか違いなん、おんなじことを見てたらやっぱ同じっていう結果になりそうな気が、僕はこの文章だけ見ると、そう思ってしまうんですけども。
0:43:14	何かその辺、見てるものが違うんだよっていうんだったら、ちゃんと書いてたを書いてもらわないとわからないかなと思います。
0:43:24	で、なおかつ、いや、私これ思ったのが、ステップ 2 のこの、
0:43:29	上の、
0:43:30	この
0:43:31	岸があった。
0:43:33	ていうのがもし②で、あの中の、
0:43:36	10 ページでの②で見ているのと同じようなことを見てるんだったら、
0:43:41	こんな何か、ステップ 1 ステップ 2 ステップ 3。
0:43:44	さらにステップ 3 からステップ 3 の 2 みたいな形でこうどんどんどんどん進むっていう、
0:43:51	例えば 12 ページですね。
0:43:55	これすでに最初にこの傾向が分かれてるのからスタートしたら、こんな何かステップ 3 が何回も起きるのか、1 回でこれは済んでるからまだ、
0:44:06	いいんですけどこれが永久に
0:44:11	永久にじゃないけどさらにもう 1 ステップ増えるかもしれないとかそういう書き方なんですよね今。
0:44:17	これ何か。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:20	2の頭の部分、もう最初で分岐させた方が何か、
0:44:24	私ら聞いている分は、わかりやすいなっていうふうに思ったんですけども。
0:44:29	今の説明を、
0:44:31	彼すると、
0:44:35	10ページで言ってるのとは違うから、
0:44:39	やっぱりこういうフローになるんだっていうことなんですかね。
0:44:53	北海道電力野尻です。そうですね10ページで言っているところ見てるものはオートスペクトルの比較なんで基本的には同じ。
0:45:04	ですただ10ページで言っているのはどういう、今後その以降の、
0:45:09	選定をどうやっていこうかっていうところで地震動評価結果を検討用地震ごとに、
0:45:15	10ケースあれば10%あれば10%を見ますと、それが一定の幅で、こちらの方で回転の概ね、
0:45:22	という言葉を入れさせていただいてます概ね同様であることとか概ね、
0:45:26	というような同程度であるっていうことで、ある程度幅を持って、頭程度っていうのを同様の傾向というのを確認して、同程度っていうのを同様の傾向というのを確認して検討できそうだと。
0:45:39	していけるだろうという判断をするのに使ってるのが10ページ、11ページの方はそれから、
0:45:44	個別に見ていってどれを代表ケースにするかという中で代表ケースとして選んだものと他のものがどういう関係にあるか幅はあって選んでいて、
0:45:54	概ね近いんだけどやはり周期体によって逆転、逆転というんですかね選んでないケースの方が大きいところっていうのは、必ず出てきますのでそれは余りにも、
0:46:04	多いものであると、施設影響として選びきれてないというか漏れてる可能性が出てくるっていうことで、
0:46:11	STEP21ページのステップの中でもやるということにしています。それから最後後段で言われたステップ3とかっていうプロセス、例えばステップ、マニーなりで、傾向として傾向一つ二つ三つって分類してしまっつ。
0:46:28	て流していけばステップ3ってないっていうような、
0:46:31	観点になるんですけどこれはなかなか

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:34	最新応答スペクトルの傾向を同様か否かっていう区分ができないので我々のやってる中でいうとまず代表ケースを決めてやって必ず大きいのは出てくるんでそいつを選んでやってそいつとの比較の中で、
0:46:49	似てるか似てないかっていう区分をしていかないとなかなか最初の段階で、
0:46:54	A B Cっていう仕分けスペクトル側の仕分けっていうのができないということいろいろトライした中でこういう作業プロジェクトで、いろいろな中でこういう、
0:47:05	作業プロセスになっているということになってます。以上です。
0:47:10	井谷です。説明は何となくわかって、10 ページは概ね同様っていうのはある程度幅がある中に入ってるかを確認してて、
0:47:22	11 ページのステップ2の方は、もう本当1本決めたものに対して、もう少し細かくっていう話をされているんだとしたらちょっと、
0:47:32	書き分けて欲しくて、
0:47:38	要するに10 ページで見て、あれ概ね同様ってもうなってるものが、ここで11 ページのステップになると、或いは、
0:47:47	傾向が違うんですか傾向、10 ページで同じと言いつきながら傾向違うんですかっていうその辺が何か、流れなくてこう、こういう質問をしてってですね。
0:48:00	いずれにしてもここのステップは必要っていうことで、
0:48:04	はい。
0:48:06	話を進めましょう。
0:48:17	規制庁佐口ですけど、やっぱり私今のところって全くわからなくて、
0:48:22	逆に言うと10 ページと11 ページって、私が見る限りはすごくですね不整合なんですよね。
0:48:28	今ちょっと田谷さん言ってましたけど、10 ページの②って②これ、
0:48:34	もう、
0:48:35	下のを通すベットの傾向とか時刻歴は形の傾向、主要動の継続時間、これっていうのは、もう全体ざっと見て、ほぼ同様なんで、
0:48:45	もう基本的には地震動のそのレベルをとスペックと地震動のレベルっていうものを見て、それで判断しますよという宣言を、
0:48:55	実は10 ページってされてるように私は少なくとも読んだんですけど、そうすると、11 ページのStep2で言うところの一番上のこの一型の方ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:04	こんなのは、全周期体で応答スペクトル形状が代表ケースと同様の傾向って、もう最初に宣言してるので、これ脳に何か流れるものはないはずで、そうするとステップ3なんていらないと。
0:49:16	いはずなんですよ。
0:49:18	でも、そうじゃなくて実際には、ステップ2のところちょっと違うのが出て、そのちょっと違うのが何が違うのかっていうのも実はよく、
0:49:29	わからなくて、なぜかっていうとそれって明確に書かれてないですよ。例えば42ページでいうと、
0:49:35	代表ケースとして選定した。
0:49:37	これぐらいのケースのうち、
0:49:40	その傾向が異なるケース。
0:49:43	て書かれてますけど、
0:49:45	その傾向が異なるって、何をもって傾向が異なるって言われてるのかもわからないで、なおかつこれって、42ページで、じゃあ今その代表ケースと選定した。
0:49:55	この、
0:49:56	前のページでやるやつですかね代表ケース①、①と。
0:50:01	今のここで42ページのところで、
0:50:05	代表係数、
0:50:06	ウー、
0:50:08	何だっけ、0002はいいのか。
0:50:11	尻別川断層によるこの平成11を上回るケースとか、いろいろあるんですけど、何がどう、どう違うのかって、実は明確に書かれてなくて、
0:50:21	その辺も、
0:50:23	よくわからないんですよいや最初の段階で10ページの段階でもう全体通して流してみたら、これ、
0:50:29	もう大体同じですよっていいこと言ってて、実はさっき李さん。
0:50:35	いや、
0:50:35	ちょっとこれ、
0:50:37	例えば、いくつかのパターンというのがそういうのが仕分けできないみたいな話をされてたんですけど、いやできないじゃなくても最初にこれ全部一緒ですって言うてるんだので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:51	その仕分けなんてする必要ないんじゃないかと、少なくとも資料見てはそう思えるんですけど、でも実際もしそうじゃないとすれば、この10ページの②の書き方って、
0:51:03	やっぱりちょっと違うんじゃないのかなと。
0:51:07	その辺はちょっと正確に、実際にやっていることと、御社の考え方ですよ。
0:51:15	フローフローと、
0:51:17	ちゃんとそこがやっぱり整合してないと我々も見ていてあれ、あれ、何か違うと言ってることみたいになってて、結局先に進めないんですよ。
0:51:28	10ページの、
0:51:32	さっき野地さんから、概ねっていうのをつけました。
0:51:37	ていうのはありますけど、その概ね②でいうと概ねとか、
0:51:43	③でいうと相対的にとか、すごいですね、何て言うのか、
0:51:50	非常にもやっとしたというのか、
0:51:52	漠然としてったというか、何かすごく明確じゃないんですよ。は判断を我々が判断をしようとしたときに、
0:52:02	その
0:52:04	おんなじような例でいうと、何か後ろの方にもありましたね。
0:52:08	26ページなんて、特にそうですね、26、
0:52:12	いっぱい出てくる。基本的に、
0:52:14	概ね同様、若干異なる、何が違うのかっていうのがですね、非常にわかりづらい。
0:52:20	なので、もうここはこうですよってはっきりいえるんだったら、
0:52:25	当然そういう書き方をしていただきたいですし、そう言えないんだったら、そこはちょっと丁寧に見ていきますと。
0:52:32	いう形でやっぱり、
0:52:34	していただかないと、我々見ていて、何を見て、
0:52:39	その妥当性を判断していいのかが、
0:52:41	ちょっとわからないんですよ。
0:52:43	なのでそこはちょっとですね、書き分ける部分が必要だ、であればちゃんと書き分けて、資料として、我々がどういうところを、
0:52:52	見て判断すればいいのかっていうのを明確にしていきたいと思うんですけど。
0:52:58	11ページの、ごめんなさい、戻りますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:03	結局そのステップ2の一番右下にあるここの歯系の確認の確認をここのが、K a k e h iを
0:53:11	確認の上代表ケースとして選定するか否か判断でありますけど、
0:53:16	これ、
0:53:17	実はフローで行き先ないんですよ。
0:53:19	というのは、その上で、ここに流れるものがそもそもないのでっていうのがあると思うんですけど、例えばこれは形を確認して、した上でですね。
0:53:28	で、どうだったらちゃんと例えば代表ケースとして、
0:53:32	選ぶのか。
0:53:36	平はないのかっていう。
0:53:38	むしろここって判断って必要ないんですかね。
0:53:42	何か今ここ、
0:53:44	フローラフローでいうと、これ最後のところでこれ止まっちゃってるんですけど、
0:53:48	で、これ矢印が例えば逆で、
0:53:53	この着目する周期体の地震動レベルを3方法で確認の際に、こういうことも含めて確認をしますよとかっていう話。
0:54:01	であればまだわからなくもないんですけど、でもそれもちょっとおかしな話で、逆に言うと、
0:54:07	この着目する周期単位の地震動レベル3方向で確認したときに、
0:54:12	明らかに、
0:54:14	3方向全部が崩落しています。
0:54:17	この、*の1ですよ。これもよくわかんなくて、
0:54:21	*の1で、①の場合はどうだ。
0:54:26	②の場合はそうじゃないっていう話なんですけど。
0:54:31	そもそもこれ②ってあるんですか。
0:54:36	ていうかその①、
0:54:38	以外のものって何ですかって話で、
0:54:41	実は①以外のものって、一番最初ですよ、ステップ1の最初のここで、
0:54:47	もうより分けられちゃってて、
0:54:49	そのステップ2のここに来る段階ではないんじゃないですか。
0:54:53	むしろこの①の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:55	概ね大きく、
0:54:57	とかですね、この概ねっていうところ。
0:55:01	確実に大きいっていうものであれば、もうそれはいいですと。
0:55:06	でも逆に言うと、概ねってちょっとどっちか判断ができない場合は、
0:55:10	このは形とかを確認した上で、どうするのかってそういう今流れじゃないのかなと私は理解したんですけど。
0:55:18	でもそうじゃないんだったらそうじゃないって言うていただければいいんですけど。
0:55:21	いずれにしてもこれ多分②のケースって、全くないと思いますけど。
0:55:26	というようななぜかっていうと、①の概ねっていうところに、無理やりかどうかは別として、全部押し込んでるので、
0:55:33	この②のケースってのはまずないと思います。
0:55:36	だからそこで、
0:55:38	本当にやっていること。
0:55:40	と、フローとして御社の考えですね、ここがちゃんと整合した上で、しかもその御社の考えについては、
0:55:48	明確に、
0:55:50	書ける部分はちゃんと書いていただかないと。
0:55:53	やっぱり我々判断できないので、そこはきちんと書いていただきたいと思います。
0:56:05	或いは北海道電力野尻ですすみませんいろいろと書いていただいて
0:56:11	基本的にとか、概ねとかっていうところおっしゃる通りなかなかこの判断応答スペクトルを見ての判断に定量的に、こういう基準があるというわけではないのでちょっとそういう、
0:56:23	表現を入れてますけど、こういう条件なりこういうものにこれに関してはこうだっていうのがもうちょっと書けるようにしっかり、
0:56:31	確認して入れたいと思いますと相対的にですね、基本的にというところ。
0:56:39	あるので、直しますんで今言われたように、最後、ステップ2の最後は形の確認の上記以外っていうのは基本的な流れ上、
0:56:50	ほぼ行くものないなんて思ってますただ全くないかっていうと、微妙で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:55	ないこともないかなと思ってたんで一応このプロセスを残しつつ、入れてましたけど、1度整理はします多分ここに行く時ってステップ1かもしくはステップ2の上のところ、
0:57:09	フォローされちゃう可能性はあるので、今一度確認をして、
0:57:15	行くものいかないものは判断したいと思います。
0:57:18	それと
0:57:19	そうですね例えば尻別川の42ページで言って異なるケースとかっていうのが、例えば38ページのところ
0:57:30	38ページこれ尻別川断層の9ケース全部重ねましたとこの中で赤がまず代表ケースですよって言って選ぶこれは間違いなく鉛直方向で完全に大きい。
0:57:42	チャンピオンなってるんでこれを選ぶってところのプロセスがいいと思ってるんですけど、その時にこの、例えばEW方向の、コンマ6秒7秒とかっていうあたり、
0:57:52	赤線を上回ってるぐれ線があると、こいつらをどうフォローするかっていうところですねこれがS s 1を上回ってるところは完璧に包絡して大きいものを選ぶということでもいいんですけどここが下回ってるもので代表できるかっていうところ。
0:58:10	難しいなという考えがあってほんま2秒3秒から78秒までの間に出っ張ってきてるものを42ページで5ケースほど拾ってきてこれが、
0:58:23	ステップ2でいう上のひし形でNoにいつてるものってというような考えでその中でまた影響の大きいものを拾ってくよと。
0:58:33	言って、これでいうと42ページいうと青が選ばれるということこれは鉛直方向で一番大きいものですね生成1を上回ってるところで一番大きいんで選んでますと。
0:58:44	いうもので、
0:58:46	この時に他の周期体がどうなのって見るところ、こちらについてはほぼほぼ出っ張ってるものがなくなったんで、この青で代表できるでしょってというような流れで、
0:58:56	一応考えてはいますのでただちょっとそこの、
0:59:00	4038から42にいつてるところがなぜこうどこが違うのかとかっていうところの具体性Yマーカー書いてませんのでそこら辺はもうちょっと、
0:59:12	明確にします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:14	というところすみません幾つか基本的にとかっていうのは考え方はあるんですけど、今一度可能な範囲で明確にした上でもう一度ご説明したいと思います。以上です。
0:59:27	はい規制庁、佐口です。そこはよろしくお願ひしますでちょっと教えていただきたいんですけどこれは私が間違ってる場合もはっきり間違ってるって言っていたいただいてもいいですし、これは教えていただきたいんですけど。
0:59:39	結局ですね、例えばそのおんなじようなレベルのスペクトルがあった場合ですよ。当然それって以前からもう申し上げていますが、おんなじだったら、採用するという考え方も、
0:59:54	両方とも採用するという考え方もあると思いますし、逆に言うと、おんなじぐらいであって、しかも例えばその時刻歴は系とかですよね。
1:00:04	おんなじような、
1:00:07	傾向というかもうほぼおんなじような形であつたら、これはあくまでも今見てるっていうのは、要は地動ですよ、地面が動くことの、による要はその地震の、
1:00:20	応答スペクトルを見ているので、実際は、建物を建屋とかのその施設の評価をするというところで、実際には入力してその施設の
1:00:32	応答で評価をするんですけど、結局、
1:00:36	何ていうんすかね。
1:00:38	時刻歴は形とかを見た時に全然何か傾向が違えばひょっとすると、
1:00:43	施設に入力したそのあとの応答っていうのが、
1:00:50	何かこう、全く同じような形じゃない可能性もあって、逆に言うと、
1:00:57	時刻歴は家とかが見て同じであれば、当然応答スペクトルも同じぐらい。
1:01:03	同じぐらいっていうのはどっちかが完全に崩落関係があるとかそういうわけじゃなくて同じぐらいであれば、
1:01:11	いわゆるその関係性っていうのは変わらない。
1:01:15	その建屋とか実際の施設に入力ウーさせた後ですよ、その最終的な応答結果だから、どちらかを選んでおけばいいんですけど。
1:01:27	逆に言うと、そういうことが確実に言えない今の段階で、時刻歴は形とかがやっぱり傾向が全然違うのであれば、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:36	応答スペクトルで同程度ほぼ同じって言うと言いつつも、やっぱりそこは違うんでやっぱり両方ともランドでおこなきゃいけないのかなっていう例えばそういう考えだったりとか、
1:01:49	そういう考え方ってありなんですかね。ちょっとそこがちょっとごめんなさい施設の入力と出力っていうかそういう。
1:01:59	関係も含めてちょっと教えていただきたいんですけど。
1:02:05	北海道電力の宇津木です今佐口さんおっしゃられた認識だと私も思っております
1:02:12	同じような応答スペクトル当然イコールではないですけど多少出込み込みあるにしてもほぼ同程度では系もほぼ同じような形状であれば施設2の評価をしたとしても、基本的に、
1:02:24	同じような傾向になる仮に非線形があろうが何しようが、基本的に同じような継続時間同じ振幅レベルであれば、
1:02:32	ほぼほぼ一緒ということなんで代表選手。
1:02:35	としてその時に両方選ぶのか、どっちかで代表させるのかっていうことはあると思います今回、泊の今の人の中では、
1:02:44	ほぼほぼイコールだからどっちにするっていうパターンで選んでるのはないですけど、
1:02:48	基本的には同じものがあればどちらかで代表できるだろうという判断かなと思っているものになりますので、佐口さんがおっしゃられた認識で、
1:02:58	我々選んでいける施設影響を見ずとも、
1:03:03	この自動の段階でもその判断はできるかなと思ってます。以上です。
1:03:09	はい。規制庁佐口です。ありがとうございますそうするとですね、結局、
1:03:13	11ページのさっき、
1:03:16	最後これ結局どうするのってそんな、実際にここに流れるものがあるかないかは別としてですよ。そうするとステップ2の一番右下の部分は、じゃあ、
1:03:26	算が同じような傾向だったら、当然これ代表ケースとして選定しないという形になって、むしろ、
1:03:33	えっとは形の確認の結果、全然やっぱ違うものだったら、これは代表ケースとして選定というそういう最終結果ですよ、フローとしての最終結果。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:44	というのはそういうことって考えていてよろしいんですかね。
1:03:50	はい。北海道電力野尻ですそうですねこの8Kを確認の上代表ケースを選定するか否か判断ってというのはせる通りは形。
1:03:59	を見て、例えば、顕著に代表ケースじゃない方、今選んでないやつの方が、例えば継続時間がすごく長いとか、
1:04:08	すごく特徴的なピークがあるとか傾向が違うものがあれば、
1:04:12	選ぶ可能性があるなということだと選んでいくということになると思ってますちょっとここにまたフロー②の場合ってそこに、
1:04:22	P Sのほうでまた分岐させるとフローがまたわかりづらくなるということのもあってここ、実際そのパターンがないということのもあってそれを個々に判断ってということで、ちょっとこのフロー上は整理したというものです。以上です。
1:04:38	規制庁の名倉です。
1:04:40	ちょっとお聞きしたいのは、
1:04:43	11 ページのステップIIの下側のひし形のところで①の場合②の場合、
1:04:50	②の場合について、個別のハケを確認の上代表ケースを選定するか否か判断って書いてあるんだけど、実際例えば30、
1:05:04	9 ページ以降とか、
1:05:06	見ると、
1:05:08	は形をもう下を書いてあって一応同様の傾向となっていることを確認しているんですね。
1:05:15	何かもうこれ、実は02の場合じゃなくてもちゃんと傾向見てるっていうふうに私とらえているんですが、
1:05:23	その場合、ちょっと今、佐口が言ったような微妙なケースというかほぼ同じぐらいだよってというのは例えば40 ページとか、
1:05:31	これ振幅レベルでいったら
1:05:34	ほぼ赤い線が緑色の線を鉛直方向では包絡していて、おそらく微妙なケースではなくてほぼ包絡してますよでもN S E Wに関しては、
1:05:45	若干出っこみ引っ込みがあって、というところでは形を見るとほぼ同様の傾向。
1:05:51	で確認をしているんだけど、
1:05:54	おそらくこれは、例えば周波数特性の一番左側の0.02 秒のところ、0.02 秒のところを見ると最大加速度値、Z P A 指導加速度そのものについては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:08	赤の方が明らかに大きいので全然あの方向ですね。
1:06:13	だからこれは代表ケース1で、要は施設への影響も考慮した上で全部カバーできてるんですよっていう説明がコンプリートにできているんじゃないかなと思うんですが、
1:06:25	そういう意味では形もちゃんと見た上で、
1:06:29	おそらく、
1:06:31	代表性を見ているんじゃないかなというふうにちょっと私これ、後ろの方見て解釈してたんですがただただフローは11ページのところは②の場合となっているので、
1:06:41	ちょっとここら辺が少しあのフローと実際やってることが、何か成功してないように見えて残念だなというふうにちょっと思いました。あと、すみません長周期の方に例えば40ページのUD方向とかで、
1:06:55	長周期に着目した場合に加速度は形で、こういうふうに長周期の方がある程度加速度レベルでも、支配的な。
1:07:07	領域に入っていて継続主要度の時間として同程度になればいいんですけど、
1:07:13	必ずしもこれ長周期の方を、要は加速度は形でちゃんと見れるとは限らないので、
1:07:21	もしかしたら長周期については速度は形とかで見た方が、
1:07:26	変な傾向はちゃんとオミットできるんじゃないかなというふうにちょっと思いました。
1:07:31	そういう観点で見たときに、途中でハケをたくさん書いてるところあるんだけど、
1:07:37	市、シリア
1:07:40	シリア側断層、尻別川断層による加速度は形で、29ページとか見ると、
1:07:48	ちょっとすみません赤字で書いた、何秒程度って書いてあるのはこれは加速度振幅で最大加速度振幅の
1:07:57	7割とかそれぐらいを超える、
1:08:01	主要動部分についての継続時間という理解でよろしいですか。
1:08:09	北海道電力野地です経営の時間に関してはこれ新最大加速度の半分0.5。
1:08:17	倍以上あるところということで整理して、この秒数を書いています。
1:08:23	規制庁の名倉です。
1:08:27	尻別川断層の場合鉛直方向は、おそらく、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:33	長周期の上に短周期が乗かってちゃんと、その位相特性が合ってるものに関しては継続時間がかなり、実はこの秋月とか中央の時間が核な長くなるんだけど、
1:08:45	不確かさ考慮モデル応力降下量とかに関してはやはり、加速度のほうが大きく出てしまっているので長周期は系の方は、加速度の振幅レベルでいったらそんなに大きくない。
1:08:58	そういう傾向になってしまってるので、
1:09:00	この市尻別川断層による地震の加速度は形だけを見ると、
1:09:06	時刻歴は系の傾向とか使用度の継続時間が、概ね同程度、同程度であると言ってるのが、本当にそうって見えてしまうので、
1:09:17	長周期については加速度は形だけで見るんじゃないくて、速度は形とかも含めて、見た方が同程度であるということが言いやすいんじゃないかなというふうにちょっと思いましたこれは
1:09:28	ちょっと修正とかそういうのに時間がかかることなんでこれは別に、今回修正してくださいというものではないんですけど、
1:09:35	実際、概ねってついてんだけど同程度ですと言ってることがそうであるんだったら、それをちゃんと説明できるようなデータでちゃんと見た方がいいんじゃないかというふうにちょっと思いました。
1:09:46	これは会合以降の改善点かもしれないので少し考えをちょっとお伺いしたいと思います。
1:09:57	はい。北海道電力野尻です。
1:10:01	最後の話ですねおっしゃる通りこの最大加速度振幅、
1:10:06	その半分が0.5倍以上のところっていうことで書くところいうふうになって尻別川って確かに鉛直方向で、
1:10:14	ものによって長さが違うでこれ、短周期側による、最大加速度が大きい小さいかによって長周期側が埋もれてるっていうのはおっしゃる通りだと思ってますので、
1:10:25	これの実見てる我々の判断としては当然この秒数っていうのを見つつではあるものの実際、見えてるは形から
1:10:35	その最大値に埋もれて長周期成分の量数がやたら短くなってるといいうのをわかった上でそういうような傾向という判断をしてるんですけどそこが見えないっていうところはおっしゃる通り、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:46	なってますでまあ、見方として速度は形で見るといいのか、例えば尻別川でいうと、特徴的な長周期なんでそこを見るために例えばビルダー書けるとかっていうのもあるのかもしれない。
1:10:57	ですがいずれにしてもその作業には多少時間は必要になるのかなという認識。
1:11:03	かと思ってますいずれにしても8Kのこの秒数だけで見てるというわけでもないで、そこら辺開け全体を見ながら、絵を見ながら決めてるところもありますのでちょっとフロー上どこまで書けるかわからないですけどそこら辺をしっかりと、
1:11:17	判断したいと思います。
1:11:21	経常ナグラです。そうですね。はい。
1:11:25	すいません。すいません。どうぞ。いいですか。
1:11:28	すいません先ほど言った、例えば40ページのところ、
1:11:33	もうスペクトルで須永さんおっしゃられた通り丹志賀もカバーしてるといのはその通りなんです但我々の考えとしてあくまでもこの尻別川断層であれば、周期1秒より長いところ、
1:11:47	が影響が大きい周期体っていう整理をしていますので、その範囲で、
1:11:53	まず、チャンピオンになってるのが赤田っていうのを確認してますと、それから、
1:11:59	この
1:12:01	緑と赤ですねの関係が、1秒から5秒でどういう関係にあるのかっていうことで赤が、
1:12:08	上回っているということで、まず、代表ケース、赤で代表できているという整理をしていて逆にこの一部より短い周期に関しては、
1:12:18	崩落してるからいいというよりは概ね同様の傾向にさえなっていれば、変なことは起こらないだろうと三田医長周期がしっかり反映できるだろうということで考えています。
1:12:30	それともう一つは系ですねこちらの方で全部のケースに派遣載せているんですけどこちら、
1:12:36	このフロー上そうなっているのは形は確かに見てはいるんですがここあえてなお書きにしているっていうのは、ちなみっていう意味で基本的にはオートスペクトルで判断ができる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:47	ものという整理をした上ではKの方も、ちなみに見ても同じような傾向です。物によってはF S10 から岩内堆南方背斜等のやつで、若干は形の傾向違うようなものも、
1:13:01	あります。ただそこは応答スペクトルで判断してるんで、案件として若干違いはあるけど、
1:13:06	代表ケースには選ばないってような整理になってますんで派遣については一応、
1:13:12	参考までとかちなみにという整理のもと、載せているということになってます以上です。
1:13:21	規制庁の名倉です。
1:13:26	10 ページのところの、
1:13:28	やはり時刻歴系とか主要度の継続時間とか概ね同程度って書いてるところに関しては、視覚的にはそう見えないように、
1:13:39	のものもあるので、そういう意味でどう説明するかっていうのはよく考えていただきたいというのがまず1点目。
1:13:47	それからですね、4、40 ページのところでしたっけ先ほど私が言及したところについては、
1:13:55	あくまでもスペクトルの方のフォーラム関係である程度見ているっていうことはわかりました。そういう意味でなお書きですということなんですけど。
1:14:05	ただし、これ全体を見たところで見たと、なお書きが長きにならない部分もあるかもしれないんでそこはよくチェックしていただきたいと思います。
1:14:15	筧の観点からすると主要動の時間的に言ったら、加速度値も含めて微妙な関係にあるものを選んでないなっていうふうに見えるようなものも、
1:14:25	若干あったように記憶しているので、ここら辺はよく見といてください。
1:14:32	以上です。
1:14:36	はい北海道電力野尻です。ありがとうございます我々の整理とはまた違う観点でおっしゃる通り最大1だったり、
1:14:45	継続時間という観点で微妙なところはあると思ってますんでそこら辺の我々の考えはしっかり整理しておきたいと思います。以上です。
1:14:58	はい規制庁佐口です。やっぱりですね今のところで関連する等、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:05	先ほどもちょっと申し上げましたけど、10 ページでマルチで本当にそういう宣言をされるのであれば、やっぱり 11 ページの Step 2 の右下の、この資格っていうのは全く要らないものだ。
1:15:17	思いますし、当然ながら、このステップ 3 とかも要らないものだというところで、そうすれば、
1:15:24	面談ですかね 12 月の面談の時にも少し申し上げたかもしれないですけど、
1:15:30	フロー。
1:15:30	が、もっとすごく単純化できるウー話。
1:15:35	にも繋がってくるので、もしそれが本当に御社の考えであれば、そういった形で、先ほどの 11 ページのステップ 2 の一番上のひし形なんてこんなもんいらなくて、
1:15:45	当然ステップ 3 も行かなくていいで、なおかつステップ 2 の一番右下のこの葉系云々って話も、このいらなくなるという話なので、もし本当に 10 ページでそう言い切れるのであれば、そういったフローを作っていたらと思っただけだと思いますけど。
1:16:00	で、じゃあ何でそういう判断をしてるかっていうと、多分 28 ページとかで、スペクトルはこういうものですよ。
1:16:06	29 ページ以降では県は見るとこういう感じですよ。
1:16:10	ていうのが多分示されて、これでそういうことを言いたいのかなとも思ったんですけど、かと言って、そこに何かそういったことが書かれているかということですね。
1:16:21	例えば 28 ページも、スペクトルが載せてあるだけ 29 ページもは計 29 ページ以降もかけが載せてあるだけで、
1:16:29	ここでは、
1:16:31	算も全体を通して、大きな違いはないとかですね、スペクトルも、傾向としてはすべて同じですとかっていう、
1:16:39	ここでそういう文言があればわかるんですけど、もうこれただ載せてあるだけということで、そこはもう御社の考えが一切示されていないので、ちょっとよくわからないと。
1:16:51	なので、もしそう、そういう、こういう全体の傾向を見て、もうすべて同じなんですよ同じ道道同様の傾向点として見てとれるんですっていうんだったら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:01	ちゃんとこのページにそういう旨を記載をしていただきたいと思います。で、
1:17:07	1点だけ私ちょっと細かいことに入り込むのもどうかなと思ったんですけど、
1:17:11	やっぱり10ページとか、着目する周期って、当然、
1:17:17	注北井っていうのがあって、この着目取周期体っていうのが結局何者かという、資料を見ていくと、多分、S s1を上回る、
1:17:28	ような周期体のことをおっしゃっているのかなと。
1:17:35	思いつつも何か粗相を、本当にそうかっていうのもよくわからなくて、
1:17:42	じゃあ、S s1を上回る周期体を着目する周期体とするのか、それとも、先ほどからちょっと言いましたけど相対的に地震動レベルが大きい中北井10ページに書いてありますけど、
1:17:56	相対的って結局何に対してだって当然あって、
1:18:00	先ほど尻別川だと長周期側っていう話でしたけど、
1:18:05	じゃあ今日周期が終わって、例えば37ページにありますね一応この長周期側の地震動レベルが大きい特徴を持つって言ってますけど、
1:18:18	何て言うんですかね。
1:18:19	最大加速度で見たらこれせいぜいっても500G a lぐらいなんですよね。
1:18:26	で、
1:18:27	いや、500G a l打ってみると、実は短周期側、0.1秒から2秒とかっていうのも500あるわけです。ですし、
1:18:36	別に水平方向なんて、その3周期はですね0.1秒から0.23秒のところ。
1:18:43	これって、多分、
1:18:46	500G a lなんてもんじゃなくて1000G a l近くあるわけなんですよね。
1:18:50	だからこの相対的に大きいっていうのがやっぱりよくわかんなくて、あくまでもこの相対って言うのは、S s1に対してなのかなっていうふうにもう見えちゃったりするんですけど、もしそうだったらそうはっきり書いていただきたいっていうのがあるんですけど。
1:19:05	あとですね、
1:19:07	ちょっと一番私わからなかったのは、
1:19:10	今積丹半島西方沖の断層の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:15	例えば 63 ページで、
1:19:21	短周期が 0.1 秒から 0.4 秒。
1:19:25	でもこれって、
1:19:27	水平及び鉛直方向って書かれてるんですけど、鉛直方向を見ると、例えば 63 ページでいうと、紫色かな、0.4 から 0.5 秒のところ、これが何か一番大きく普通にパッと見ても見えるんですよ。
1:19:42	でも、今着目所周期でこれ外れちゃってるので、当然ながら 64 ページ見ると、
1:19:48	これ、
1:19:49	鉛直方向で、カラーじゃないんですよ一番大きく見えるようなものが、
1:19:55	だからその、
1:19:57	着目する周期と、あと
1:20:01	明確に何ていうんでしょう。何でしたっけそのフローでいうと 11 ページのフローでいうと、
1:20:07	着目種する周期の地震のレベルが、いずれかの方向でっていうのこれ、当然 3 方向のいずれかですね、明確に大きい。
1:20:16	これと、さっきの 64 ページでしたっけ、この関係も、やっぱり私見ててわかんなくて、これあくまでも、
1:20:24	64 ページ見ちゃうと、このグレーのこの 0.44 から 5 秒の、
1:20:29	所院長ここ明らかにこれ明確に大きいですよ。
1:20:32	なのに、なぜ、
1:20:35	これを、
1:20:36	代表ケースとして選定しないのかって言うと、その着目す周期体と違うからって多分御社答えるんだと思いますけど、その着目する周期体って、
1:20:48	何で 0.1 から 0.4 秒までだなど、とかっていうのもちょっとよくわからなくて、
1:20:54	そこを、
1:20:55	やっぱりきちんとご説明いただかないと、
1:20:59	私はちょっと今、今これもその代表ケースの選定っていうのも、積丹半島で細かい、これ 1 点だけじゃないですけど他にもありますけど、ちょっとよくわからないんで、ただそういうところ含めて、ちょっときちんと説明をしていただければと思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:13	別に今すぐじゃなくてもいいんで、そこは、紙面上でどうするのかとかそういうのは考えていただきたいと思います。
1:21:24	はい。北海道電力野尻ですわかりました。ちょっと幾つかおっしゃられて、
1:21:30	わかるようにしたいと思います 28 ページ以降に 18 から 8K スペクトルははっきり載っているところの説明がないっていうのがちょっと確かに資料上わかりづらいですけど 2627。
1:21:43	の文章を書いているネタが 282930、3233 までですね、ということになってますけどそこがしっかりわかるように紐付けは、
1:21:54	考えます分割しては形なりスペクトルの方に書くかはちょっとどうするかはまた考えますけど、直したいと思います。
1:22:01	それから相対的というのが何ぞやというところで佐口さんおっしゃられたところだと周期待感とも見えるっていうのはそういうことなんですね。
1:22:12	をし、我々としてはですねこれ検討用地震間っていうものを、
1:22:18	S s 1 に対してっていうのはちょっと二つの見方があるかなと思ってます S s 1 を超えるところの周期体っていう観点と、もう一つが、尻別川、F S 循環連動断層それから積丹の、
1:22:32	竹井数、
1:22:33	という辺りのスペクトルの相対的な関係を見ると、特徴的に大きいところがここですと、尻別川だと長周期側、
1:22:42	水迫田と短周期と一部長衆議院みたいなことで整理していて
1:22:47	一つの検討用地震の時の評価の周期体っていう意味ではないのでそこら辺は誤解を招かないように、可能な範囲で、明確に、
1:22:57	したいと思っております。
1:23:00	それから最後ですね積丹の 63 とか 64 の U D を入れてないっていうのはおっしゃる通り着目する周期体じゃないっていうようなところからの整理になって着目する周期って何っていうと S s
1:23:13	1 を超えてるところの周期体っていう整理。
1:23:16	をしていきますので、そういう意味で S 1 を超えてないところですしそこは、
1:23:22	対象外っていうような整理になると思ってますけどまた他にもあるということなんで今一度見直した中で、どこまでしっかり説明できてるかも

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	しくは説明を追加するかっていうのは整理します。以上です。すみません。
1:23:37	規制庁の名倉です。
1:23:41	説明がちょっと今説明された内容と書いてあることが一致しないところがあって71ページ開いてもらえますかね。
1:23:51	これは積丹半島の層厚0増20度ケースのところ、
1:23:57	代表は、としての選定の妥当性の説明なんですけど二つ目の丸のところ、
1:24:04	採用した4ケースについては、
1:24:10	着目する周期体の地震動レベルが3方向で大きいケースがそれぞれ選定されているって書いてるんだけど、
1:24:18	これ3方向で見るんですよ。
1:24:21	N S E Wだけじゃなくて、
1:24:23	そうするとUD方向に関して、
1:24:27	トレイピークは0.4秒から0.5秒の間なんですけど、
1:24:32	ピークの端っこのそのところは0.4秒、0.3秒から0.4秒のところでは他のものを超えているんですね。
1:24:39	だから、
1:24:40	ピークの位置だけの話じゃなくて周期体で見てる話ということであったとしても、説明が71ページ矛盾してます。
1:24:50	それからちょっとつけ足して言いますと、47ページ、尻別川の結論のところもう、
1:24:57	着目する周期の地震動レベルが3方向で大きいケースが選定されてるから妥当だと言ってるんだけど、
1:25:05	そういう説明をした時に、赤能勢赤尾選定することの説明については、
1:25:10	説明してることになるけど、青については、
1:25:14	説明になってないんですね。
1:25:21	着目する周期体長周期で1、
1:25:23	1秒以上のところですよ。
1:25:26	そこのところで、オー、赤に明らかに包絡されてるので、何でじゃを選んだんですかってこのページだけ見ると、
1:25:33	説明になってない。だから、そういう意味でちょっと
1:25:37	説明されてる内容等、口頭で説明した内容と、実際書いてあることが、やっぱり今日いろいろ説明聞いていても整合してないところが多々あって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:47	こういうところはちょっとよく、注意して、記載とか、検討していただきたいと思います。
1:25:58	はい北海道電力野地です。おっしゃる通りちょっと47ページとかですねパッとこの文章と、だけを見ると整合してないっていうのはおっしゃる通りだと思いますので実際のプロセスを整理していくと、こうなってるっていう説明ができるんですけど、書いてるところと合っていないっていうのおっしゃる通りなんでそこは今一度全部見直したいと思います。ありがとうございます。
1:26:22	谷です。さっきのところちょっと私も気になってて関連で確認するんですけど、
1:26:28	38ページの説明の時にさっき野尻さん
1:26:32	この赤の代表ケースでは、
1:26:36	E W方向の0.3秒ぐらいのところこれがヒロイなくて、
1:26:41	だから、
1:26:43	ステップ3に進むようなことをしてるんだっていうような説明だったと思うんですけども。
1:26:49	これって結局今調整官言ったように、着目する周期体。
1:26:56	以外のところも、
1:26:58	選ばれてるようなものが出てくるっていうような説明ですよ。着目する周期はもちろん見るんだけどそれ以外のところで、ちょっと違ったような形があったら選ぶんだと。
1:27:10	いう考えがあるっていうことかと思うんですよ。
1:27:13	そうなってくると、いや本当に何かちょっと混沌としてきて、
1:27:20	10ページ11ページの話で、10ページってもう全体の話をして、
1:27:27	11ページのステップ1は着目する周期体に限った話が、ステップ1で始まって、ステップになると今度また全、全周期体の話を、
1:27:38	し始めて、だから、
1:27:41	着目する周期体に絞っておきながらステップ2でさらにちょっとまた広げて、
1:27:47	次はまたステップ2の下、多段は着目する周期体っていう子、流れがですねとてもわかりにくくて、もしも何か北海道電力が考えているように、
1:27:58	最初に何かこう二つこう尻別川だったら、
1:28:01	2種類の傾向があるんだよっていう話でスタートすれば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:06	いいんじゃないかなっていうふうに、
1:28:08	思ったんですんで、さっきサグチの方もステップ 23 のこういうフロー 要らないんじゃないんですかねっていういらんじゃないんですかね って言ったら、
1:28:18	ここいらんじゃない説明の中でここまでこう、ややこしく説明する 必要ないんじゃないんですかねっていう意味だと僕は思ったんですけれ ども。
1:28:28	何かちょっと、
1:28:33	この辺の
1:28:35	考え、着目する周期体にこう決めたのにそこからまたこう広がっていく 話だとかを、
1:28:42	うまくこう流れるようにしていただきたいなというふうに、こう思って いますけど、ちょっと今のサグチの何かコメントと、
1:28:52	ちょっと合わせて 11 ページのフローとかって、
1:28:55	やっぱりこのまんまで今ところ 1 分ですか。
1:29:01	何か考えし直すとか、します。
1:29:06	はい、北海道電力野尻です。
1:29:09	実際の作業プロセスとしては 11 に書いてるような流れでやっていった ということとあと、最初に傾向を開けるのっていうのがなかなか難しい だろうという、
1:29:22	実際もう、そう、そういう作業ではなかったというのと、なかなか難し いだろうなと思ってはいたんですけど、作業と、わかりやすく見せるっ ていう我々審査を受ける中で、わかりやすく説明をさせていただくとい う、
1:29:35	観点最初に傾向を本当は分ければ一番、
1:29:40	わかりやすく今、佐口さんおっしゃられたように、二つの傾向のある 分類ができればそれがただ費、ひとつ流れていくっていうフローの方 が、そのをし理解されやすいというのもわかりました。
1:29:53	ちょっともともとそこもトライしながらなかなか厳しいなと思ってたん ですが多分そこに、
1:30:00	での整理ができないとなかなかご理解いただくのは今先ほど言ったよう に、
1:30:05	中規定を絞ったり広げたり、絞ったりっていうところとかですねそこが やっぱりなかなかご理解いただきにくいということもを認識しましたの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	で、最初にちょっともう一度傾向を分類して、そっから流していくって いうこと。
1:30:20	の整理。
1:30:22	ができるかちょっと検討させてください。ありがとうございます
1:30:26	井谷住まい図、再検討するにしても急いでやって欲しいんですけど も、ちょっと何か、
1:30:32	きっとねとてもわかりにくいと国、またつけ足して言いますけど 72 ペ ージなんて、
1:30:40	これ
1:30:41	ステップ 3 まで進むようなこのフローをやっている中で、もうもはやこ う、
1:30:47	最初の代表ケース 1 が選ばれたんだけど、
1:30:50	それに代表させるものなんか実はないと。
1:30:54	で、次のステップ 3 でまた二つ出てきて、それに諏訪代表させるケー スがあるところ、何かこの辺の御説明がですね。
1:31:04	どうも何か、
1:31:08	理解しにくい代表と言いながら、代表。
1:31:12	代表と言いながら代表させてるようなものはないんですっていうのとか ですね。
1:31:17	これなんか最初から何か三つも選んでますっていう話にしてもらった方 がいいな。
1:31:25	してもらった方が、何かわかるんじゃないかなって思ってるような小ケ ースですね。
1:31:32	ちょっと 1 回考えてもらって、実際こういった間流れでやってきてた、 頭の中にはそういったものがあつたんだっていうのは、
1:31:44	はい。順番はわか分かったつもりですけども、やっぱり説明もちょっ と、
1:31:51	うまくできていないかなって思うようなところ、何か言葉足らずな点も あれば、少しかこう書き、
1:31:59	パッと見たら無矛盾してんじゃないのかなとか思ってしまうようなとこ ろがあるということですね。
1:32:05	で、よろしくお願いします。
1:32:10	ちょっと話変えますけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:17	と、これ結局北海道電力の選定のさ、最終的な選定されたものっていうのは、
1:32:25	S s 1 を超えるのが 39 ケースあって、さらに各周期体でチャンピオンになるケースが 13 ケースか 14 ケースあった中で、
1:32:38	その中で、いくつかは選定されていないっていう話をこの間、ヒアリングで聞いたと思います。
1:32:45	で、基本的に選定されていないものがどんな程度で S s 1 を上回っているようなものなのかっていうのは、これはねわかるようにして欲しいんですけど。
1:32:58	もう 1 点なんかそういう選び方をしているっていうのは、何ていうんですかね北海道電力独自なのか或いは先行サイトとかでも、
1:33:08	各周期体でこうチャンピオンなっているけど選ばないような考え方をこうなんか見習ってやっているのかとか、その選考会サイトと比較、比較というか、見たときに北海道で
1:33:22	確認してると思うんですけど、
1:33:25	どう、どんな感じになってくるんですか。
1:33:30	他、
1:33:31	他の、いやいやこういう先行サイトと同じようにやってるんですよとかそういうのがあったら、ちょっと今聞いとこうかなと思ったんですけども。
1:33:42	北海道電力野尻ですばサイトウに直接、当然確認してるわけではないので資料を見ながらっていう判断だと思ってますけど
1:33:52	従来は、もともとは私我々の認識としてはチャンピオンどこかの周期でチャンピオンになってるものを選んで行ってるっていうことだと思ってます
1:34:03	が基本かなと思ってます今回、泊で 13 ケース、どこかでチャンピオンになるって言ってたあの野地 9 ケースは今回も使ってます入れサエキ純真にしてるんですけど四つ。
1:34:17	ほどは外してますと、これらはほぼほぼ S s 1 と、
1:34:22	ちゃんとデジタルでちょっと超えるっていうようなものが幾つかあるということでそれらは他のケースでも代表できるだろうとそれをピンポイントっていうよりはある、その着目する周期でって言ってますけどその幅の中で網羅できるっていう整理の中で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
 発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:37	カバーしてるということになってますんでちょっと高校の細かい作業をしてるサイトはないのかなっていう気はしてますこれ、
1:34:46	標準応答スペクトルの他サイトの会合を踏まえて、こういう整理を今してるところだと思ってますんで今後はあるのかもしれないですけど今のところ、
1:34:57	過去はないのかなっていう認識です。以上です。
1:35:02	わかりました北海道電力の
1:35:06	もうほぼS s 1と同じなんだけどもデジタルで細かく見た時にそのなんか9、13-9の何ケースかの話が出てくるんだっていう、
1:35:17	説明ですかねそれって、
1:35:22	声、声てる程度の話、もう考慮して言ってるんだったら、超えてるって言っても本当のデジタルのこの部分なんですよっていう話をしてるんだったら、
1:35:34	何かこう、
1:35:35	ちゃんと説明してもらったほうがいいしもうもうすでに、過去の会合で、いやS s 1を超えるのはこの10何ケースあるんですっていう、違う違う、各種期待でチャンピオンなるのはこれだけあるんですっていうのを、
1:35:49	1000、もう言ってるものの、
1:35:52	がどうなったかっていうのはですね、最初の最初にこう、いや超え超えてるといってもう同程度なんですとかいう説明をされるんだたらなんかあんまり、今の説明、
1:36:05	いいのかもしれないですけどもう1回
1:36:09	超えてるものに着目してるんだ、ちゃんちゃん周期体ごとにチャンピオンなるものを着目してんだっていう宣言がある中で、
1:36:17	今回その辺が、
1:36:21	何か書いてあるんですけど。んな、何も書いてないですよ。
1:36:27	そうですね北海道電力除いて今回特にそこを明確にはしないです逆にS s 1を超えるのがぎりぎりだっていうよりは他の代表ケースの中に、代表できるという整理をしているものになります。
1:36:40	何かだから過去はこんなことに着目してたんだけど今回こうしてるから、さらにそのS S、その、その地震動っていうのはこんな、こんなや。
1:36:51	こんなものだったのでとかいうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:53	何か書いてもらわないとまた何か、
1:36:58	これ論点になり、なるんだろうなっていうふうには私思っていて、いやもちろん書いてもらっても論点になるかもしれないんですけど。
1:37:05	考えはね、資料に入れていただきたいなと思います。
1:37:13	できる範囲で、
1:37:14	検討ください。
1:37:17	はい。北海道電力の刷りでそうしましたの。
1:37:20	過去に出してる資料との整合という意味でも、はい。可能な限り言及したいと思います。
1:37:33	はい、お願いします。
1:37:35	ちょっと最初の、
1:37:38	全体的な話はいいですか。
1:37:43	ちょっと最初の方に話戻りますけど、私の方は11ページの代表ケースの選定って説明してますけれどもここで必要なのは、
1:37:55	施設に与える影響が大きいと考えられる地震動をすべて代表ケースとするため、代表ケースで他のケースを代表させることができるか確認するっていう、
1:38:07	何か、
1:38:11	すべて代表ケースとして選定するためっていうのをその間、考え方なんですよね。その考え方が合ってるかどうかを確認するみたいな文章になってるんですけど。
1:38:23	ここでやっぱり書いて欲しいのは、こういう手順を踏むことで、こういった根拠で影響を大きなものが選定できるっていう、そういった説明があるんだと思うんですよね。
1:38:35	で、何かわからんけどA選んでるものがそれでいいんですっていうような話でこうされてもなかなかこう考え方がわからないっていうので、
1:38:47	ここはですねぜひちゃんと考えを変えて欲しいんです。
1:38:51	いいですかね。
1:38:57	はい。北海道電力野尻ですわかりました。
1:39:01	我々として、選んでるプロセス、考え方を入れてるつもりですけど、あれですねすべて選定するためといいながらどういう考え方今度どういう根拠で選べる、
1:39:14	というところの、
1:39:15	考えというか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:17	何つうんでしょうねシナリオというのが、そこをポーラーしているところの我々の判断という考え方をちょっと追加するようにしますちょっと今、
1:39:29	すぐこういうのを書けばいいというのが浮かんでないですけどちょっと考えます。以上ですはいかがです。そうです。でもこのステップを踏めば選べるんだってというような話なのでな。そこ、そこ言葉にして欲しいという、
1:39:42	だけといえばだけなんですけど、なかなかこう、
1:39:46	曖昧さもあるのかもしれませんがでもお願いいたします。
1:39:51	あと、言葉じりなんですけれども、例えばですけど、
1:39:57	39 ページ、例えば、
1:40:02	何か、
1:40:03	最後の行からで、以上を踏まえ代表ケース 1 を、
1:40:08	断層の傾斜角破壊開始点 1 の代表ケースとするってこの言葉がですね、何かあんまりこう、
1:40:16	代表ケース 1 を、
1:40:20	いいのかな、何かこう、代表ケース 1 って別のものがあるんだけど、
1:40:25	この何か、
1:40:27	断層の傾斜角破壊開始点 1 っていうものの中から代表ケースにするってというような読み方にこう見えてしまって、
1:40:36	何か、
1:40:36	多分、ちょっと日本語。
1:40:39	の話かなと思いますけど。
1:40:42	O B の代表ケースにするって、
1:40:47	代表ケースっていうのは幾らかある中の代表ケース。
1:40:52	なんですよね。代表させる。
1:40:55	何か。
1:40:56	技術的な話では全くありませんので、
1:40:59	一応これがいっぱい出てくるときにちょっと何か違和感ありました。
1:41:03	いうところです。
1:41:15	細かい話はおっしゃる通りですね
1:41:21	傾斜角、破壊開始点 1、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:25	トーマツず主従関係というか代表させるのがどっちなのかっていうのちょっとわかりにくい感じがしますのでちょっともう一度日本語は直しますありがとうございます。
1:41:38	はい。
1:41:39	お願いします。
1:41:41	あとちょっと再最後もう1回確認なんですけど47ページの、
1:41:47	これさっき確認したのこの、
1:41:51	47ページのこのブルーの線は、
1:41:55	着目する周期体。
1:41:58	以外の観点で、選びましたよっていうことでいいのかというのと、
1:42:04	あと
1:42:06	60ページの下、60ページもう、
1:42:12	60
1:42:14	定時の、
1:42:15	05個、
1:42:19	あれこれ何なんだ。この
1:42:21	これも⑤も、あれですよね着目する周期体以外の観点から選ばれたってことでいいんですかね。
1:42:36	北海道電力の中で進まず、47ページに関しての、青に関してはそうですね
1:42:43	着目する周期体で、おっきいのが第1弾として赤ですと。
1:42:48	先ほど言ったように、若干中周期ですねコンマ5秒4秒っていう辺りの傾向が違う。算群の中から、
1:42:58	代表選手になるのが今度青ですってというようなことになってますんで、着目する周期で選ぶんですけど、その3方向のそれ以外の周期点を見るっていうことで、
1:43:11	選ばれてきてるカーと違って選ばれてくるってというのがこの47ページになります。
1:43:18	ベッドなんですけど60。
1:43:20	ページですね、60。
1:43:22	ページはこれは、
1:43:29	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:32	そうですねこちらもステップさんの方で選んでいくってことで傾向が若干違う。最初に選んだものと若干傾向が違うものが二つこの2羽があると。
1:43:46	ということなんでその中から、どっちが優位かって言うと、濃い青の方が優位だっということ選ぶということその前段、
1:43:55	と若干傾向が違うは系、その短周期がですねこれは長周期に着目してるんで短周期側でちょっと違うものから、
1:44:03	代表選手を選んでもというようなことになってます。以上です。
1:44:11	井谷です。
1:44:14	結局この60ページのこの紫っていうのは、61ページでも紫でいいんですね紫で。
1:44:22	今の言ってるように確かに0.
1:44:26	0.2秒ぐらいから、
1:44:30	0.3秒ぐらいのNS方向だとかEW方向の0.2から、
1:44:37	0.6秒ぐらい来、こういったものに着目して選んだやつなんだっということですね。
1:44:44	北海道電力野尻です。おっしゃる通り、そちら側の傾向が代表し、他のもので代表しきれないだろうということここを選んでいるものです。
1:44:55	はい。確認できました。
1:44:57	あとはですねこのステップどうするか、どっちはちょっともう1回考えてもらうということなんですけど、そのステップと、
1:45:08	ちょっと資料構成でこれ、どこのステップステップでもどこに当たるのかみたいなのがわかるようになったらいいなって思ってて、
1:45:17	今、今の資料の構成でいくとステップ2で、右側に進むのが一体どれなのかっていうのが、
1:45:26	ぱっと見てわからないんですよ。ステップ3に進む群。
1:45:31	群が、
1:45:32	どういうやつがステップ3に進んでるのかって言うのが、結果たどっていったらいいいっばい見ていくとわかるんですよこれ、これなんだなっというの。
1:45:42	だけどその群としてどういうのがステップ2から漏れるのかっていうのがよくわからないっというの、今の資料ではあってももちろんこの辺話が変わるのかもしれないけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:54	せ、説明がわかりやすくなるような資料を
1:45:59	心がけていただけたらと思います。お願いします。
1:46:05	はい北海道電力野尻です。おっしゃるところを理解しましたので、どうか、わかりやすくとにかく全体の流れがですね、あとでいけるように整理します。はい。ありがとうございます。
1:46:23	規制庁の名倉です。ちょっと1点だけ事実確認したいんですが、73ページをお開きください。
1:46:32	積丹半島北西沖の層厚40度ケース。
1:46:36	ちょっと教えていただきたいのは、
1:46:39	水平方向の短周期でエスワンを超えるものっていうのは、ちょっと拮抗してるのでよくわからなかったんですが、どの色度のケースの、
1:46:50	波なのかをちょっと教えていただけますか。
1:47:02	はい。北海道電力野尻です色丹野40度の水平方向ですね。
1:47:08	超えるのが、応力降下量の
1:47:12	破壊開始点2番。
1:47:15	なりますんでまず、
1:47:17	一つがそうですねブルー薄い水色というかが一つ。それともう一つが傾斜角の
1:47:24	はい、破壊開始点一番。
1:47:27	なので黄色ですね、この2ケースになります。
1:47:37	規制庁のナグラです。あ、わかりました事実確認だけですので、結構です。
1:47:47	規制庁谷です。もう1点なんですけれども、
1:47:52	前回会合では、この積丹半島の話をするときに、
1:47:59	標準応答スペクトル。
1:48:01	もうちょっと持ち出しながら、この周期体の話をしたと思うんですけど、今回はそれを使わなくても、
1:48:10	説明代表性の話で説明できるという話なんですけれども、標準応答スペクトルって、
1:48:18	これ応答スペクトルを作ったと。
1:48:21	茂木はを作っていると応答スペクトルを使った地震動評価ですね。
1:48:26	で、
1:48:27	あれと、例えば数、ここの周期体の関係とかって、何か、
1:48:35	参考とかでも

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:38	何か見れたらなっていうふうに思ったりするんですけど、そこを超えてるからどうのっていう根拠に非北海道電力、
1:48:48	するつもりはないけれどもそういうことももしこういう関係にあるんですよっていう説明を、
1:48:55	す。
1:48:56	したいというかその周期体のことをもうちょっと詳しく説明する上で、何か資料としてさ、され、されないのかなっていう、それ参考にしかならないのかもしれないですけどね今の考え上は。
1:49:09	3、
1:49:10	そういったこともこう見てて思いました。
1:49:16	はい。北海道電力野尻ですおっしゃる通り前は標準応答スペクトルと比較してたんですけど今回代表性ここの検討事項と代表性で整理できるということで標準応答スペクトルっていうか特定せずの比較っていうのは特に今回はしてない。
1:49:31	状態ですただ比較できるということだと思ってますんで、いざとなればっていう気はしてますし、今おっしゃられたように積丹の地震動レベルとの相対的なレベル感、ちょっと相対的表現あれですけど、
1:49:45	レベル感としてみるっていう意味で参考にちょっと入れるところどこに入れるか考えますけど、何らか参考に示したいと思います。以上です。
1:49:55	はい。ちょっと、じゃあ、はい。お任せします。
1:49:59	資料の方はどれぐらいかかりそうですかねえ。
1:50:05	これはちょっともう急いで欲しいんですねもともと年末に会合っていうのを目標にしてたっていうのもあって、
1:50:17	あとは考え方の整理っていうことで特に貢献当行が必要なわけじゃなくて、あくまでちゃんと我々が北海道電力の考えを理解、
1:50:27	支援しないと、会合に行っても意味がないなっていうような話だったんで、そこを整理して欲しいんですね。
1:50:37	はい北海道電力野尻ですそれと力をいただいたコメントとにかく我々がやってる作業んと資料が合っていないとか資料の中でわかりにくいっていうのは
1:50:49	所のコメントいただいてると思ってますんでそこをしっかりと一度直したいと思いますがそこそこ。
1:50:55	コメン等の量があるっていうのとフローを変えるというかそのお話になると殊後段の整理も院長からと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:04	順番だけかもしれないですけど買いに行くところがあるのでちょっと時間はかかりそうな気はしてますけど、ちなみにこれ、今回また見直した資料の方を提出させていただいてヒアリング、
1:51:15	をするイメージを今お持ちかどうかっていうのはどうなりますかね。
1:51:19	えっとですね今日今日ヒアリングをやってみて、やっぱりちょっと、
1:51:23	わかかわからないなっていうようなことを結構、お伝えしたと思うんですね。やっぱりそこをわかるようになってから会合したいなっていうのが我々の希望ですので、ヒアリング、あると思っておいてください。
1:51:36	はい北海道電力ノジリ承知しましたという中で、
1:51:42	そんなに、
1:51:44	数日に出せる気はしてないですって。
1:51:47	ところではありますけど、
1:51:49	逆に
1:51:52	期限というか検討していただいたんですか。これロジ的な話なので、検討していただいてそのあと、連絡いただけたらと思います。お願いします。
1:52:02	はい。わかりました今日のコメントを踏まえてちょっと機関の方見積もってご連絡します。はい。お願いします。
1:52:14	北海道電力の方から確認とかございませんか。
1:52:19	なければ、これで、
1:52:23	ヒアリング終わりたいと思いますけれども、
1:52:25	はい、北海道電力野尻です等から特に確認事項はありません。
1:52:31	はい。谷です。それではヒアリングの方終わりにしたいと思います。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。